

2021 年 5 月 23 日(21 週目) 主日礼拝

「伝道者の哀しみの祈り」(哀歌 3:19-26)

哀歌は、エレミヤがエルサレムの滅びをみて、哀しみの中で書いた祈りである。哀歌は、滅びを受けた後のメッセージである。哀歌の悲しみの祈りについて分かち合っていくようにする。主により頼めば、主の祝福が臨まれるようになる。

1.滅びを受けた理由	2.主の恵みと憐れみ(福音)	3.主の絶対計画
▲神様がイスラエルの民を選んだ理由があった。律法を持ったが、ことごとくイスラエルの民が約束を破ってしまった。 1)2 歴代 36:15-16 (1)主はむちを与える前に預言者を送り警告を与え民を憐れんだ (2)預言者が何度も警告をしたがイスラエルの民が聞かなかった - その結果、バビロンの捕囚となり滅びるようになった。 (3)なぜ民たちは、預言者の声を聞かなかったのか。 ⇒霊的な状態が悪魔の奴隷状態であったため。 2)ヨハネ 8:44 (1)霊的な状態が悪魔の奴隷状態であったので、過ちを犯した。 (2)空中の権威である悪魔についていく人生になった(エペ 2:2)。 - その結果は滅びである。 3)エレミヤの活動(40 年) (1)ヨシヤ王(640 年 - 609 年) ・3 つの国(バビロン、アッシリヤ、エジプト)の強大国があった。 ・エジプトの国がアッシリヤに攻めに行く時に、ヨシヤ王がエジプトの国と戦おうとした - ヨシヤ王が戦死してしまう。 ⇒神様の子どもは、肉的な戦いをすることを辞めるように。 ⇒霊的な戦いをして、伝道・宣教中心になるように。 (2)エホアハズ王(609 年) - 3 か月の王位で終わる。 (3)エホヤキム王(609 年 - 598 年) - エジプトの国の側になった。 ・バビロンの国に敵対するようになった。 ・その後、捕虜として捕らえられ、城壁が崩された。 (4)エホヤキン王(598 年) - バビロンへ連行され、37 年間にわたって拘禁される。 (5)ゼデキヤ王(597 年 - 587 年) - エジプトの側に立つ。 ・バビロンが怒り、攻めてくるようになった。 ・2 年間、エルサレムを包囲をされて飢餓状態になった(哀 4 章)。 ⇒ゼデキヤ王の子どもたちが殺され、ゼデキヤ王の目を抜かれ、バビロンまで連行されるようになった。 ⇒神殿は完全に破壊をされてしまうようになった。 ⇒伝道、宣教のためにイスラエルは呼ばれたのに、その使命を果たさずに、問題が起こってしまった。 ⇒イスラエルの滅びの姿を見て、エレミヤは涙を流して祈った。 4)BC586 年 - イスラエルは、バビロンの捕囚となってしまう。	▲人間の力では、問題を解決することはできない。エレミヤは神様の慈しみと恵みを願って祈った。 1)哀歌 3:22 (1)主の憐れみは尽きない。 (2)神様の憐れみは、イエス・キリストである。 —すべてのことを赦す、神様の哀れみである。 2)ローマ 11:22 (1)神様は、慈しみと厳しさがある。 (2)慈しみとしては、サタンの奴隷となっている私達の為にキリストを遣わされた(創 3:15)。 - サタンの頭を踏み砕き、罪を赦された。 3)ヨハネ 19:30 (1)私の苦しみ、問題を完了された。 —心配をする必要はない。 (2)キリストが全ての呪いと災いを完了された。 (3)サタンは死の恐怖を与えて苦しめる。 —キリストが勝利をされたので恐れる必要ない。 —問題は益になる(ヘブ 2:14-15)。 4)ヨハネ 1:12 (1)私達は、神様の子どもになった。 (2)私達は、全てを得るようになった。 —神様の相続分が、私達の相続分である。 (3)キリストの中に知恵と知識の宝がある。 (4)キリストと私は一つになった。 —御座の祝福、時空間を超える祝福を味わう。 (5)神様の力を下さる(使徒 1:8)。 —聖霊が臨まれると証人となる。 (6)キリストと共に十字架につけられた(ガ 2:20)。 —サタンは私達の前で震えおののいている。 5)哀歌 3:23 (1)私は目覚めたときから、福音を考える。 —キリストと私が一つになった。 (2)キリストに集中をすることである。	▲神様の目的と計画がある。私を通してすべての人が福音を聞くことである。私は何者であるのか。 1)1 ペテロ 2:9 (1)私達は、王、祭司、預言者(伝道者)である。 —主は私達がこの人物である事を分かって欲しい。 2)使徒 27:24 (1)政治を動かしている人が、サタンの奴隷になってる —私達が王である。 (2)権力者を生かさなければいけない。 —権力者の人こそ、霊的なことは素直な人が多い。 —権力者の人こそ、悩みの中にいる人が多い。 (3)現場に隠されている使命者を生かすように(ルデヤ、ヤソン、プリスキラ) —女性の中でこそ弟子が多い。 ▲結論 ・今の世は世の終わりの時代である。 ・今の時代には、福音が必要である。 ・朝ごとに神様の恵みを味わうように。

現場地教会(2021 年 5 月 23 日～2021 年 5 月 29 日)

【賛美】「イエスわが王よ」

- 1) イエスわが王を賛美で迎えん 栄光の主の御座を もうけたまえ主よ
私は神のもの ゆえに神にささげん 御心のままにおさめよ 主イエスよ
2) イエスわが王よ ここに来られ われが主にささぐ 賛美受けたまえ
われは主のしもべ 主はわれらのきみ 主なるイエス来られ 賛美を受けたまえ

【使徒信条】

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり、かしこより来たりて、生ける者と死にたる者とを審きたまわん。我は聖霊を信ず、聖なる公同教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

【メッセージ】 「伝道者の哀しみの祈り」(哀歌 3:19-26)

【讚美】 444 み恵みゆたけき

【祈り】

①教会の祈りの課題

1. 全聖徒が御座の祝福を味わう霊的見張り人となり、福音と祈りでミッションを掴み、日本と 237 に働く暗闇と霊的戦いができますように。
2. 全聖徒が霊的医者となり、霊的な病で死んでいく日本と 237 を、御言葉と祈りで癒すことができますように。
3. 全聖徒がキリストの霊的サミット大使となり、日本と 237 のサミットを原色福音で生かして育て、キリストの福音を伝えることによって、日本をキリスト教国家にできますように。
※御国イザヤ牧師に聖霊充満と 5 つの力が与えられるように。
②現場地教会の聖徒の中で欠席された方、問題、病にある方、新しい家族のために。
③現場地教会参加者の祈りの課題(集まった聖徒の祈り課題を付箋に記入)のため。

【フォーラム・祈り】

【主の祈り】

天にましますわれらの父よ。ねがわくは、御名をあがめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。我らをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。国とちからと栄えとは限りなくなんじのものなればなり。 アーメン

福音宣教教会 祈り題	1. 福音宣教教会(ローマ 16:20、25-27) 2. 主任牧師(使徒 6:4、アモ 3:7、創世記 18:17) 3. レムナント(イザヤ 6:13) 4. 癒し(使徒 19:8-20) 5. 日本神学校、東日本神学校(Ⅱ列 6:8-23) 6. 200 都市(創世記 41:36-38) 7. 1000 大学(使徒 19:9-10) 8. 日本総会教会(使徒 6:4、コロ 4:2-3) 9. 日本 8000 教会(使徒 17:1-3) 10. 本部、柳牧師(138、14、24、25、00、237) 11. 日本をキリスト教国家とする(使徒 18:9-10) 12. 237 宣教、太平洋・インド洋宣教(マタ 24:14、使徒 1:8)
契約の祈り (主日礼拝)	1. サタンの奴隷になって御言葉を破り、滅びるしかない私を、恵みと憐れみの福音ですべての問題を解決され、すべてを得た神様の子供とされ、キリストと一つにされたことを感謝します。 2. 私はサタンを踏み砕く最高の幸せ者ですが、今もサタンの奴隷のまま滅びている未信者の現場を見て、哀しみの祈りをする伝道者になることを願います。 3. 福音と現場への祈りで限界と時空間を超える御座の祝福を受け、王・祭司・預言者として大胆にサミットに伝道し、国全体を生かすサミット伝道の答えを受けますように。
お知らせ	1. 5 月 29 日 10:00—18:00 働き人修練会
福音宣教教会 主管牧師：御国イザヤ 名古屋市中区栄 5 丁目 23-8／tel:052-238-6003 主日(日曜)1 部礼拝 7:00 ／ 2 部礼拝 10:00 ／ 3 部礼拝 12:00	